



久野美穂

ネットワーク

通信

名古屋市議員

市議会のように
ご覧いただけます

〒454-0835 名古屋市中川区八家町3-46-2 電話：052-364-8812 ファックス：052-354-0031

通信第9号の議会報告「区役所窓口対応に不満」を、お読みいただいた方から、こんな嬉しいお便りをいただきました。一部ご紹介いたします。

感動しました！

私は定年退職後、体の不自由な母親の世話を19年間やりました。特に後半は、各種手続きや申請、更新など多くの作業に時間を費やしました。

幸い、私は車で移動できましたが、この通信9号で紹介された方のご不便は如何ばかりか。本当にご苦勞様でした。

憂いに寄り添う人と書いて「優しい」といいます。仕事を今一度見直して、優しい業務改善が図られるよう期待しております。

令和6年10月

久野美穂は、昨年3月の本会議で「区役所の福祉業務窓口における問題点と課題」について、質問いたしました。

福祉関係の手続きは役所の都合で、高畑区役所と富田支所に、行先が分かれてるものがあります。そんな役所の決まりは撤廃して、区民の都合がよい方で手続きできるようなするべきです、というのが質問の主旨でした。

私の質問に対して、当時の健康福祉局長は「区役所・支所どちらでも受け付けができるように検討します」と、回答しております。

あの質問から1年経った今年3月。委員会では「いつから実現することになったのか」と、確認をしました。

そうしたら、なんと「区役所、支所の実情を丁寧に把握して進めてまいります」という答えでした。つまり、未だに検討中ということでした。

それを聞いて、いい加減、私も怒りがこみあげてきました。

区役所の福祉業務窓口 1年経っても「検討中」いつ改善

1年経っても「検討中」

6月議会
本会議質問

壇上で質問する久野美穂

そこで6月本会議で、再度この問題に迫りました。

一体、いつまで検討すれば気が済むのか。住む場所によって、区役所でしか受け付けできないこと、支所でも受け付けできないこと。そんなことがあるのか。

例えば、障害者手帳を発行する場合。手帳の発行を承認するのは、区役所でも支所でもなく、別の機関なんです。書類を受け取るだけなら、どちらに出したっていいじゃないですか。

役所の都合ではなく、区民に不必要な手間をかけさせないという、昨年の私の本会議質問に対する

局長答弁の主旨を分かっているなら、「いまだに検討中」というのは、さすがにおかしい。

この1年余り、改善に向けて何にもしなかったのか。区役所、支所全体の仕事量が増える訳でもなく、新しい制度や組織を創れといっている訳でもないんです。

そして、一番大事なポイント。名古屋には「様々な市民ニーズに対応します」という行政目標があります。「より便利で快適な窓口サービスを受けられる」ということです。

しかし、現実には区役所か支所か、どちらかでしか受け付けてくれない。

行政目標と現実の対応が、まったく違います。

先日、高畑区役所の近くに住む85歳を過ぎた男性から、お話を聞きました。

富田支所管轄に住む妹さんの代わりに、支所まで行かなければならず、「これから行つてきます。でも遠いから大変……」。手続きすることすら、ままならない状況なんです。

「せめて来年（令和8年）4月に、どちらでも受け付けができるようにします」と応えるべきだ」と、市に改めて要求しました。

ようやく、市側は「令和8年4月1日より、実現できるように取り組みます」と答弁。やっと、私の望んでいた方向に進み始めました。

名古屋市には、やることと山積みです。こんなことに時間をかけるのなら、市の今後が心配です。もっと、スピーディーに物事を進めるべきです。

そして何より、市民の便宜を図るという目標を立てているのですから、その言葉どおりにやって欲しい。

久野美穂は、強く強く要望して、本会議質問を終えました。

追及に市側やっと「来年4月1日から」

ご存知ですか「ナゴヤ学びのコンパス」

市が新教育施策の成果強調 不登校など問題は置き去り

【6月議会 本会議質問】

名古屋市の学校教育で進めている「ナゴヤ学びのコンパス」という施策をご存じですか。

近所の方から「中学生とは思えない格好で、学校に通う子をよく見かけるけど、大丈夫？」という心配の声を、いくつかお聞きしました。

教育委員会に問い合わせると、令和元年度から始めた、自立して学び続ける子どもたちの育成を目指す「ナゴヤ学びのコンパス」という教育施策の一環で現れているものだと言います。

名古屋市の全小中学校で行われているこの取り組みの現状と問題点を、久野美穂は6月本会議で取り上げました。

教育委員会は、地域に対して「ウェブサイトやSNSで発信している」と答弁しましたが、保護者や市民の理解を得ているとは、到底思えません。学区や地域への十分な説明、地域の意見を丁寧に聞くなど、きめ細かな

配慮が必要です。

また、教育委員会は、「夢中で探求する子どもたちが見られるようになってきた」と言います。それならば、不登校やいじめ問題も減っていくのが当然だと思います。でも、不登校もいじめも増えているのが現状です。

あの本会議質問…その後どうなった

市営住宅入居募集 単身者向けを拡大

「先着順」新制度

市営住宅に入りたい多くの高齢単身者がいる。空き住宅は7800戸もある。なのに、募集する単身者用は少ない。これ、おかしくないですか。

久野美穂は、市の姿勢と今後の方針を、令和2年6月本会議で質問。その後も、委員会や本会議質問で改善を迫りました。その結果、市は先着順募集制度を改正。世帯人数の制限をやめ、募集区分を一般・単身者共通とし、令和6年11月から始



「ナゴヤ学びのコンパス」の冊子

不登校に限って言えば、この新しい教育施策を始めた令和元年度より6年度までの6年間で、小学校で約3倍、中学校で約1.7倍に増えています。この施策を始めて7年目に入っており、いくつかの学校はモデル校とし

て、先進的な取り組みを行っているそうです。

それならば、少なくともモデル校では、何らかの成果がでてきてもおかしくありません。客観的・総括的な評価を出す時期です。

教育委員会は(株)日本総合研究所に、この施策の検証の仕方もお任せだし、検証結果を受けた提言も、すべてそのまま受け入れています。こんなことでいいんですか。しかも、モデル校で得

られた良い結果だけを、(株)日本総合研究所に出させています。本来、いい結果も悪い結果も両方知った中から、この施策の新たな方向性が見えてくるはずですよ。

さらに、教育委員会は、「モデル校では挑戦心、達成感、幸福感の数値が高まってきた」と、成果を挙げます。

しかし、検証は印象や感覚的なことだけでは不十分です。不登校やいじめの減少、成績の向上といった数字での裏付けが必要です。

何よりも、名古屋市の大事な教育の検証を、民間の(株)日本総合研究所に丸投げするのはなく、責任を持つのは教育委員会であるべきです。



好天に恵まれて春日大社に参拝

奈良へ後援会バス旅行 300名集う

久の美穂後援会は、緑あふれる古都・奈良の旅を笑顔、笑顔で楽しみました。

雨の心配をよそに好天に恵まれた6月1日、約300名の方々とバス7台を連ねて、名古屋をスタート。巳年ゆかりの大和国一之宮大神神社、世界遺産の春日大社に参拝しました。

奈良ロイヤルホテルで昼食をいただき、思い出の品をお土産に大満足の日でした。

市役所、市政資料館とゴミ処理施設見学

後援会の有志の方々が参加して、名古屋市施設見学会を開催しました。

桜が開花した3月26日、国の重要文化財に指定されている市政資料館(大正末期の旧裁判所庁舎)や、昭和初期の記念的建物で、国重要文化財の市役所本庁舎を見学。午後は、家庭から出るプラスチックごみ処理工場を見学しました。



国重要文化財の市政資料館にて

※今後の旅行にご参加頂ける方は、事務所までご連絡ください。旅行予告時にお知らせいたします。事務所TEL：052-364-8812

久野美穂の進言で実現しました

- 八家公園のトイレとバックネット建て替え、ベンチ2カ所を屋根付きに取り替え、テーブル付きのベンチを設置
- 細米公園のベンチ増設
- JR春田駅の北側に駐輪場を増設
- 2026年4月の供用を目指します。
- 感震ブレーカー「分電盤タイプ」の設置費用の一部助成を、市営住宅にも拡大しました。



八家公園の新設トイレ(上)と屋根付きベンチ

【令和7年度 所属委員会と役職】

都市消防委員会 副委員長
大都市制度・広域連携促進特別委員会 副委員長
名古屋港管理組合議会 議員